

「中国地方における大規模地震に対する検討会」設置趣意書（案）

2011. 3. 11 東日本大震災が発生、M9.0という経験のない地震と大津波により、東北から関東の太平洋側の広範な範囲で、甚大な被害を被った。

この震災では、これまでの防災計画・防災体制・避難計画・応急復旧や復興計画のあり方に、様々な問題を提起し、その見直しを迫まっている。

中国地方は、東西に長い海岸線、臨海地に集積する人口・産業、その一方で、土砂災害の危険地域にも多くの集落が存在するという特徴を有し、地震に対する危険性を内在しており、近年においても、南海地震、鳥取西部地震、芸予地震など、甚大な被害を受けている。

中国地方の地理的条件、また、自然的・社会的特性を考慮し、中国地方に甚大な被害をもたらす大規模な地震の規模・被害を想定するとともに、東日本大震災で提起された課題も踏まえ、中国地方が大規模地震に見舞われた場合の諸課題を分析し、対応の基本的な方向性を検討し、提言するものである。